

「有東木盆踊り・新田花火大会」を見学しました！

8月14日のお盆に、管内で開催された新田花火大会、有東木盆踊りを見学しました。

14日(金):新田花火大会

新田地区の花火大会は、花火毎に献発者を紹介して打ち上げ、打ち上がった花火は星空を背景に山々にこだまします。花火は100発程ですが、軒先で家族親戚揃って見上げながら、ゆっくりと時間が過ぎる、市街の花火大会では味わえない素朴で暖かみがある花火大会です。梅ヶ島地区では15日に入島、戸持の花火大会が開かれています。



午後7時、日没とともに打ち上げ開始



山々にこだまする花火



山々にこだまする花火

14日(金)・15日(土):有東木盆踊り

有東木盆踊りは、盆に先祖を迎えて共に踊りあかし、最後に先祖を送り出すという国の重要無形文化財に指定されている盆踊りです。夕方から深夜まで、男踊りと女踊りに分かれて男女交互に踊る古風な踊りで、踊りの最中に華麗な飾り灯籠が登場する特徴ある盆踊りです。本来の盆踊りの意義を今に伝える貴重な民俗芸能です。

当日はテレビ局も取材にきており、普段のどかな有東木地区も多数の見学者で賑わいを魅せていました。翌15日には灯籠を先頭に行列を組み、村はずれまで練り歩き、「送り出し」が行われます。



男踊り



飾り灯籠



最終日の「送り出し」

水難事故に注意！駐在さんとパトロール ～8月13日～

梅ヶ島出張所では、毎年夏休み期間に安倍川上流域で「水難事故防止パトロール」を行っています。5月のGWに引き続き、8月13日に地元に通じている梅ヶ島警察官駐在所の米原巡査部長と合同で巡視を行いました。お盆ということもあり、小雨にも関わらず、たくさんの方が橋の下やキャンプ場などで水辺を楽しんでいました。急流河川で急激に増水する恐れがある安倍川の特徴を知って頂き楽しんでもらうよう説明させていただきましたが、今夏は水の事故が多発しているためか、皆さんよく耳を傾けて頂きました。



真富士の里にて食事中に失礼して



急激な増水に注意して下さい！



野生動物にも注意して下さい！



携帯、スマートホンで降雨情報収集

大谷山腹法面工事が始まります～工事だより～！

【施工者:(株)白鳥建設、現場代理人:志村 卓哉、工期:平成27年6月20日～平成27年12月10日】



大谷崩の崩壊を防ぐ工事を行っています

工事の目的: 大谷崩周辺の崩壊の拡大、斜面の侵食を防止する為に山腹工を行い、斜面の安定させ植生の復元を目指します。

特殊モルタル吹付工
急傾斜地の破碎岩地帯や風化・亀裂の発達した不安定脆弱部分に、特殊モルタルの接着力と金網の連続性で斜面を一体化し、斜面の保護安定を果たします。

ロープネット設置工
ワイヤロープを格子状に組み、斜面に点在する浮石・転石の初期始動を予防して現位置にて押え込みます。

施工イメージ



工事しないとうなるの?

流出した土砂が下流河川の河床を上昇させることで、洪水氾濫による甚大な災害が発生する恐れがあります。このため、土砂の流出を抑制するために山腹工を継続実施します。

工事はこちらまで進んでいます

準備工 特殊モルタル吹付工 → ロープネット設置工 → 完成

工事名: 平成27年度 安倍川水系大谷山腹法面工事
 工期: 平成27年6月20日～平成27年12月10日
 工事内容: ロープネット設置工 1,000㎡
 特殊モルタル吹付工 1,000㎡
 発注者: 国土交通省中部地方整備局 静岡河川事務所 工務課
 梅ヶ島出張所
 TEL 054-273-9102
 TEL 054-269-2003
 受注者: 株式会社 白鳥建設 TEL 054-269-2321



現場代理人: 志村卓哉さん

今回、工事を担当することになりました、現場代理人の志村卓哉といいます。大谷崩の現場は初めてでまだまだ経験不足ですが、先輩方に勉強させてもらいながら、無事故・無災害を目指して工事を進めて参ります。また、今回工事の為にマルチコプターを導入しました。現場の状況写真以外にも、大谷崩の四季を今までにない視点で発信していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

大学生による「キャンプ砂防」を開催～8月25日～

「キャンプ砂防」は砂防を専攻したり、砂防に関心がある全国の大学生を募り、砂防の意義、役割について学ぶ場を提供し、「砂防」に対する認識を深めてもらうことを目的に、平成8年度から全国の国土交通省砂防関係事務所で行っています。静岡河川事務所では平成10年度より開催しており、18回目となる本年度は群馬大、岩手大の2名の学生を受け入れました。24日には座学などを行い、25日には安倍川の土砂生産源である大谷崩れの山腹工事現場、既往砂防施設を視察し、砂防事業を学んで頂きました。

大谷崩は深い霧の中での視察になりましたが、将来の土木技術者を志す、2名の学生は霧の切れ間から覗いた崩れの全容に驚きつつ、法面对策工事現場では施工上の注意点などを熱心に質問し、事業に対する理解を深めていました。



工事説明に耳を傾ける2人



施工業者に熱心に質問する2人

編集後記

厳しい暑さが続いた8月も、月後半には夕立が暑さを和らげるようになり、ヒグラシが夏を惜しむかのように鳴いています。市内より一足先に秋が近づいている感じですね。企画した「旬な現場」(現場見学会)はあいにくの天候により中止となってしまう、応募頂いた方には非常に残念でしたが、大谷崩れ周辺はこれから紅葉の季節へと移っていきます。見頃はまだ先ですが、安倍川源流で季節の移り変わりを感じてみてはいかがでしょうか。

皆様からの情報やご意見を募集します。

Tel: 054-269-2003 、 E-mail: http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiawase.html

